



平成20年11月4日

各位

会社名 **株式会社フジナ**
 代表者名 代表取締役社長 堀 直 樹
 (コード番号: 5955 大証第2部)
 問合せ先 取締役管理本部長 川 瀬 晴 夫
 TEL 075(591)2131

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月14日の決算発表時に公表いたしました平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)及び通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,350	40	30	20	0 13
今回修正予想 (B)	3,174	△45	△44	△144	△0 94
増減額 (B-A)	△176	△85	△74	△164	△1 08
増減率 (%)	△5.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成19年9月期)	3,345	9	86	835	5 33

(2) 平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,850	150	130	120	0 78
今回修正予想 (B)	6,410	65	70	20	0 13
増減額 (B-A)	△440	△85	△60	△100	△0 65
増減率 (%)	△6.4	△56.7	△46.2	△83.3	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	6,735	91	181	913	5 86

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,200	10	11	5	0.03
今回修正予想 (B)	2,091	△61	△53	△143	△0.94
増減額 (B-A)	△109	△71	△64	△148	△0.97
増減率 (%)	△4.9	—	—	—	—
(ご参考)					
前期実績 (平成 19 年 9 月期)	2,236	△10	7	771	4.93

(2) 平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,500	100	95	80	0.52
今回修正予想 (B)	4,250	35	50	10	0.07
増減額 (B-A)	△250	△65	△45	△70	△0.45
増減率 (%)	△5.6	△65.0	△47.4	△87.5	—
(ご参考)					
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	4,454	28	69	778	5.00

3. 業績予想修正の理由

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間におきましては、景気の急激な減速に起因する自動車業界の生産計画下方修正等の影響を受け、売上高が当初見込みを下回る見通しとなりました。利益面におきましても原材料価格の高騰に伴う販売価格への転嫁の遅れ、棚卸資産の低価法適用等の影響を受け、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初見込みを下回る見通しとなりました。なお、経常利益の減少額と比較し当期純利益の減少額が大きい主な要因は、棚卸資産評価の低価法適用に伴う評価損 30 百万円、投資有価証券の回収不能見込額に対する引当金繰入 50 百万円等の特別損失の計上によるものであります。

通期業績予想につきましては、下期売上高を下方修正いたしました。基幹システムの本格稼動に伴う合理化効果等により利益面では当初計画を上回る見込みであり、上期の見通しを踏まえ修正しております。

厳しい経営環境ではありますが、当グループといたしましても更なる営業努力、経費削減、生産効率の向上に鋭意努力する所存でございます。

以上

(*) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。